

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	上下水道料金徴収事業			
担当部・課名	料金課	評価者 (課長)	玉野一彦	評価責任者 (部長)	藤田真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	ご利用のお客様	事業の目的 (意図)	上水道、下水道の使用に対する公平な受益負担をいただくため、当該料金の回収に努め、もって低廉な料金と公営企業財政の健全な運営をめざす。
事業の内容 (手段)	①未収金の圧縮 未収金の早期回収に努め、不良債権化することを防止と適切な債権管理を実施します。 ②お客様へのサービスの向上 給水管漏水の可能性がある場合による一次調査やご相談へのきめ細やかな対応により、お客様の満足度の向上を図ります。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
現年収納率		決算数値には納期未到来債権が含まれるため、5月末時点での算出数値を使用します。	百分率		98.3	99.3	99.3
					99.2	99.3	
					101.0%	100.1%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	97,650	103,680	124,089	129,400	129,400
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	97,650	103,680		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	0		・熊毛鹿野地区簡易水道事業統合に伴う事業拡大 ・料金システムのオープン系移行の完了	
	正職員人件費	千円		0			
	人工数	人	7.00				
	支出コスト	千円	決) 97,650	決) 103,680			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	人口減少、水使用原単位の縮小により、経営環境が厳しくなっており、自治法や企業法の改正で可能になった民間委託やアセットマネジメント手法の導入を実施。収入においても、第二次行革大綱実施を機に、数値目標を設定するとともに、業務改善を図ってきた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 アウトソーシングによる経費削減は、経済的効率的な事業運営が図られる一方で、災害時等の危機管理ができるかが課題となる。上下水道事業は重要なライフラインであり、事業に精通した人員の減少はBCPに支障及ぼす可能性がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	収入率は高水準を維持しており、破産倒産等の債権回収困難事案が主であるため、新規未回収債権の発生防止とともに、回収困難債権の保全や管理が主となる。	評価責任者コメント	

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 検針徴収業務では、個別分野・項目にわたる委託実績評価表を作成し、これをもって課題を把握することで業務品質の向上を図ってきており、今後もこのサイクルを継続する。 なお、熊毛鹿野地区の簡易水道事業統合に伴い、徳山新南陽地区の事業事務手順に統一することで業務品質の向上を図り、未収債権の回収と事務経費の低減に向けた環境整備に努める。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	上下水道料金徴収事業	債権の早期回収による不良の防止	口座振替の再々振替サービスの停止 お支払いの遅れているお客様への早期の接触と促しの実施	107,580 可		4.00	
②	水道料金システム移行事業	債権管理機能が充実したオープン系システムへの確実な移行	システム機能と移行データのチェック	16,509 可		2.00	
③							
④							
⑤							